

# みんなからは厚高です

## 学習活動の特色

本校は四月に新しく三六人の新入生を迎え、全校生徒は一〇八人になりました。この少人数の利点を生かして一人ひとりが分かる授業を目指しています。さらに今年度から「地域キャンパス校」となり「センター校」である苫小牧東高校から授業支援を受けています。ここではその特徴的な授業についての概要を説明します。

## 展開授業

三年生の現代文でクラスを半分にした二展開授業を行っています。本校の国語教諭と苫東高の教諭がこの半数のクラスを交互に受け持つシステムです。十数人の生徒と教師が一つの教室で意見を交わしながら生き生きと学習しています。

## チームティーチング

一年生の総合的な学習の時間と三年生の選択授業、家庭看護福祉

## 生きた英語に触れる

各学年の英語の授業には週に一度、英語指導助手（ALT）を迎えています。今年度は本校の英語教諭とALT二人の計三人で行う授業もあり、生徒は身近に生きた英語に触れています。また、放課後の英語同好会でもALTとのゲームや会話などで楽しい国際理解が行われています。

## 家庭生活の基礎を身につける

一年生の総合的な学習の時間と三年生の選択授業、家庭看護福祉

## 進路の状況

### 今年度の概況

九月の就職活動解禁日を直前に控え、三年生の進路決定に向けた動きもいよいよ本格化してきました。今年度は、求人票公開の六月一日から進路相談室へインターネットで求人票閲覧を希望する生徒や、進路担当者との相談に訪れる生徒

では生徒一人に一台のパソコンがあたり、指導は二人体制で実践的な実習を行います。

## 個々の実力をつける

生徒の学力向上を図るために、家庭学習課題を毎日出題しています。これを全教員で分担して添削指導をし、一週ごとに宿題をまとめてテストを行います。理解が不十分な生徒には放課後に個別指導を行い、基礎学力の養成を徹底しています。



## 生徒会活動の状況

### 学校祭について

七月十八日（金）と十九日（土）に第二十八回厚真高等学校祭が行われました。

生徒会執行部は、高橋和也生徒会長を中心に六月中旬ごろから学校祭に向けての活動を始めました。執行部で話し合った結果、メインテーマを「絆〜The bond of friendship〜」、装飾テーマを「世界の国々」に決めました。メインテーマを「絆」にした理由は学校祭の準備や当日の催しを通して、クラスの団結力を高め、学年間の交流を深めてもらおうという意味が込められています。

## バドミントン部

今年度のバドミントン部員は男子七人、女子三人の合計十人で活動しています。苫小牧地区を勝ち抜き、全道大会で活躍することを目標に日々活動しています。

創部以来、中学校で競技経験のない選手も多くなりましたが、中には苫小牧地区での入賞を勝ち取る者もあり、他校からは「素人を育てる厚真」と呼ばれています。その様な卒業生たちが休日、平日

## 部活動について（今回は運動部を紹介します）

問わずやってきて、現役の高校生と卒業生が一緒になって練習しています。このような中から、部員たちは技術の伝習と人間関係の幅を広げていきます。

## テニス部

五月二十一日に苫小牧市で開催された高体連室蘭支部テニス選手権大会に二年生女子のダブルス一組が出場しました。初めての公式戦出場ということもあり大変緊張して試合にのぞみました。対戦相

きですよ、二日目の後夜祭では大運動会を企画しました。しかし、後夜祭の大運動会は突然の降雨のため中止となったため、体育館でビンゴ大会を行いました。どの企画も盛況で、執行部のメンバーは大きな充実感を得ることができました。各HRや委員会も国をテーマに工夫をこらした装飾を行い、来校された方々にも好評を得るなど、この学校祭は生徒にとって大きな思い出になったと思います。今年の学校祭もPTAや地域住民の皆様からたくさんのご支援をいただき、無事終了することができました。本当にありがとうございました。

手は強豪の室蘭海星高校です。試合前のサーブ練習の段階で対戦相手はかなりの実力者であることがうかがえました。結果はゲームカウント六対〇のストレート負けとなりましたが、試合内容としてはラリーが続くとボレーでポイントを決めるなど、今後が期待できるものでした。慎重になつてテニスを心がけることで秋の新人戦で勝利をつかめそうな手応えも感じることができました。三年生が引退してテニス部は部



▲展示の書道コーナー

▼展示委員会の装飾



員三人の小さな所帯になり、そのうち二人が生徒会執行部でも活躍しているのので、学校祭準備中はほとんど練習ができませんでした。そのため夏休みの練習は、草が伸び、ア리가巣を作った荒れにしまったテニスコートを整備することから始まります。人数が少ないのでテニスコート整備も大変ですが、人数が少ないとボールに触れる時間も大きな学校の大きなテニス部よりたくさんとることができま

## 野球部

私たち野球部は、今年度新入生三人を新戦力に加え、部員十八人でスタートを切りました。

春季大会一回戦敗退の悔しさを胸に、雪辱を誓って臨んだ第九十回全国高校野球選手権大会支部予選。一回戦は平取高校と対戦し、十一対一（五回コールド）で昨秋以来、夏季大会としては三年ぶりとなる勝利を収めることができました。二回戦では伊達緑丘高校と対戦、全校応援のなか全力を出し切りましたが、力及ばず十三対〇（五回コールド）で負けてしまいました。

この大会で三年生は引退してしまいました。現在は秋季大会に向けて一・二年生十人で基礎技術のレベルアップと体力アップに励んでいるところです。秋こそ全道大会出場を果たせるよう、チーム一丸となって頑張ります。



▲支部予選でピンチにマウンドに集まる選手たち